

むろらん 市議会だより

発行／室蘭市議会
編集／広報特別委員会

新たな時代への
まちづくり



母恋にある旧朝陽小学校校舎を改修し、「えとも学園」「あゆみ園」「子ども通園センター」を集約した室蘭市子ども発達支援センター「愛称：あいくる」が、4月3日からスタート。

知的発達に遅れのある就学前児童を対象とした「通園施設」と障がいのある児童や発達に不安のある児童を対象とした「児童デイサービス」の2施設が1階へ、自立支援の活動を広める障害者福祉団体が2階へ入ります。

「愛くるしい子ども達が集い、たくさんの愛が集まる場所になりますように」との思いが込められた「あいくる」が、障害者福祉の拠点となることを願っております。



車イスが交差できる広くて明るい廊下



子ども達が元気に遊べるプレールーム

平成21年第1回室蘭市議会定例会

- 2月 26日 本 会 議 (開会、市政方針及び教育行政方針説明、議案説明ほか)
- 3月 4日 本 会 議 (追加議案の説明、代表質問)
- 3月 5日 本 会 議 (代表質問)
- 3月 10日 本 会 議 (質疑・一般質問)
- 3月 11日 特別委員会 (白鳥新道・幹線道路建設促進)
- 3月 11日 本 会 議 (質疑・一般質問、各委員会への議案付託ほか)
- 3月 12日 常任委員会 (総務、経済建設)
- 3月 13日 常任委員会 (民生)
- 3月 16日 特別委員会 (一般会計予算審査)
- 3月 17日 特別委員会 (一般会計予算審査)
- 3月 18日 特別委員会 (一般会計予算審査)
- 3月 19日 特別委員会 (特別会計予算審査)
- 3月 23日 特別委員会 (特別会計予算審査)
- 3月 24日 委 員 会 (議会運営)
- 3月 25日 本 会 議 (各種議案の議決ほか、閉会)

第1回定例会開催

平成21年第1回室蘭市議会定例会が、2月26日から3月25日まで、28日間の会期で開催されました。

今回の市議会定例会は、市長提出議案として平成21年度の一般会計予算を初め、特別会計及び企業会計の各予算を中心に条例改正等を含む議案35件及び議員提出議案として意見書案3件について、審議・議決しました。

代表質問

各会派の代表質問から14項目を取り上げ、答弁要旨を紹介します。

新政会

はやさか
早坂 ひろし

財政再建策の見通しについて

【問】 財政見通しと比べ、平成21年度病院会計の資金不足が増加するが、財政再建策の見通しは。

【答】 備荒資金及び退職手当金の活用や水道事業からの長期借入れによる港湾会計、市場会計の資金不足解消、国保会計の黒字化等により、平成20年度の連結実質赤字比率は黒字の見通し。21年度は、市税の減収や扶助費の増加、病院会計の資金不足増加による繰り出しの増加など、昨年の見通しと比べ厳しい財政状況にある。このような状況を踏まえて、平成22年度から5年間の財政見通しを作成中である。

将来人口と

インフラ整備について

【問】 インフラ整備を進めるには、借入金の償還期限となる将来推計人口を明確にし、公共投資を行うべきではないか、見解を。

【答】 学校建設事業は、老朽化に加え将来の児童数の動向も勘案しながら統廃合の優先順位や規模を決定している。公共住宅の建てかえは、住宅



中島・日新小学校を統合した旭ヶ丘小学校を中島小学校グラウンドに建設中

マスタープランでの人口推計に基づく管理戸数を定め施設整備を進めている。今後も歳入や公債費比率の推計を見きわめ公共施設整備を進めていく。

公立病院の改革について

【問】 公立病院改革プランは、医師の確保なくしては推進しないものと思われるが、市長の考えは。

【答】 地方では医師の引き揚げや集約化が進んでいる中、市立病院は札幌医科大学との信頼関係の中で、医師の確保が図られている。医師の手当引き上げや土曜日外来の休診など労務環境の改善を行い、今後も臨床研修病院としての医師の確保や医療機器の更新、病診連携や病病連携などで機能分担を図り、医師の負担を軽減するなど医師の確保に努める。

市政・創造21

やまかわ
山川 ありさ
あせう
明

経済・雇用対策について

【問】 地域雇用創出等推進基

金1億7千7百万円の主な活用方法と、今後の状況によっては、早急な補正予算での対応が必要と考えるが、見解は。

【答】 商業振興への対応と、教育訓練を実施する企業を支援していく。また、休業部分にも支援を拡大したい。なお、雇用対策への対応として新年度の早い時期に補正予算を提案したい。

今後の財政運営について

【問】 今後の学校建設や市営住宅建設については、市税収入等が大幅に減少していく中で、計画に沿って実施していくとしているが、今後の財源確保策と収支均衡予算を組むための考え方は。

【答】 国の各種制度や学校建設基金を活用することで、一般財源の抑制を図ることも、引き続き行政改革を進め、計画の実現に向け努力していく。

介護保険事業について

【問】 介護療養病床の廃止により、行き場がなくならないように、高齢者が安心して医療を受け、施設でサービスを受けられるような施設の充実



平成19・20年度予算で建設した舟見町の市営住宅

に向けた取り組みは。

【答】 老健や医療体制の充実した介護療養型老健、グループホームや小規模ケアハウスなどが予定されているが、今後、整備が決まったら、利用者、家族の不安とならないように、円滑な移行を推進する。



障がい者

自立支援について

【問】第1期実施計画の評価と障がい者の地域生活への移行促進に向けた考えは。

【答】必ずしも地域生活移行は進んでいないが、今後とも居住の場のグループホーム整備と福祉的就労の場の充実をあわせて促進することが重要。

民主・市民クラブ

佐藤 潤

長期不況による倒産の

未然防止について

【問】世界的不況が長引けば、中小零細企業の倒産が予測され、未然防止に十分なる対策は必要であるかどうか。

【答】経済部に専門的知識のある職員を配置し、商工会議所、連合、金融機関等との横断的な取り組み、相談体制、情報収集等を行い対応していきたい。

特別養護老人ホームの

増設について

【問】特別養護老人ホームの

待機者は実質的には250人、自宅での24時間介護は厳しい環境にあり、胆振管内での増設の計画は。

【答】第4期計画期間での西胆振圏域での特別養護老人ホーム増設計画はないが、新しいサービスとして、通い・訪問・泊まりの機能をあわせ持つ、365日、24時間きめ細かなサービスができる「小規模多機能型居宅介護」が市内には、2カ所で事業実施。今後も地域密着型サービスの充実を図っていききたい。



小規模多機能型居宅介護を行う事業者

教育委員会活性化への

改善について

【問】教育委員の顔が見えな

い、仕事が見えない、独自性が見えないという声がある一方、教職員の7割が教育委員会の改革に不満を示しているが、見解は。

【答】委員会改革として今議会では教育行政方針に対する点検評価報告を行うが、教育委員は資質向上のため研修等で積極的に活動している。今後各校長会、職員団体等の要望や意見を聞く。

がん診療拠点病院の

指定について

【問】誰もが望むがん治療体制の確立のため、「地域連携拠点病院」の指定を受けるべき、見解は。

【答】専門を異にする医師等によるカンサードボードの設置やクリティカルパスの整備等指定要件の整備を進め、次期の指定を目指したい。

公明党室蘭市議会

細川 昭広

行財政運営について

【問】平成21年度末での基金残高の見通し、今後の基金活

用の基本的な考えについて伺う。

【答】平成21年の基金残高は、62億7千万円、このうち現金残高は約37億4千万円の見込みであり、各基金の本来目的を後年度も維持できるように、基金残高を確保し、その上で、各会計の資金不足への対応として、繰替運用のほか、長期借り入れについても、将来の財政負担や健全化判断比率への影響も勘案し、慎重に検討する。

地方分権について

【問】地方に対する権限移譲が進むと、職員一人一人の業務の負担も増大していくと予想され、不祥事などに対するリスクマネジメントの対応強化が必要になってくると思うが、見解を伺う。

【答】公金の取り扱いについて昨年、全庁的に見直し、チェック体制を強化したが、公金に限らず、職場内でのコミュニケーションの活性化や内部牽制を図るための研修に努めるなど、業務の透明性を高め、市民にわかりやすい市役所の姿を発信していきたい。



公金はできるだけ納付書払いでの協力を求めている

青少年健全育成について

【問】身体や知的、情緒などの障がいを持った児童についても、放課後児童対策が必要であり、スクール児童館における特別支援学級児童などの今後の受け入れについての考え方を伺う。

【答】受け入れに当たっては、特別支援教育推進協議会での判定後、施設利用の申し込みがあった時点で就学相談員や施設の指導員、放課後児童対策担当職員などによる検討会議で協議しており、今後とも、適切に対応する。

質疑・一般質問

議員8人の質疑・一般質問から16項目を取り上げ、答弁要旨を紹介いたします。

日本共産党 田村 農夫成
たむら のぶなり

経済・雇用問題について

【問】正職員の前倒し採用や臨時職員採用を即時実施する考えは。

【答】職員採用は計画的に実施しており、前倒しは困難。臨時職員採用は、緊急雇用創出事業のほか、一時的な業務増加により通年予定している。

【問】中小零細事業へ小規模工事を発注する「小規模修繕登録制度」について見解は。

【答】小規模事業者の技術力や緊急時対応能力の確認が難しく、制度創出は困難。

国民健康保険と

介護保険の保険料について

【問】国保会計は黒字、介護保険も基金が3億円超。保険料を下げる考えは。

【答】国保料軽減措置の一部

は市税負担であり、さらなる引き下げは困難。介護保険料は基金活用で急激な上昇を抑制。

市政・創造21 青山 剛
あおやま たけし

少子化対策について

【問】公共施設に市民寄贈のベビーカーを設置する考えは。

【答】市民サービスの向上とリサイクルの観点から早期の配置に向け検討する。

【問】近年の合計特殊出生率(出生数)の推移は。



さまざまな少子化対策が求められる

【答】平成17年は1.22(649人)、平成19年は1.34(668人)。

都市住宅政策について

【問】老朽危険家屋の現状と今後の対策は。

【答】2月現在で、161件の相談中97件が改修または撤去済み。残る64件に対しては、弾力的に部局間で連携し、所有者に対して改善指導を行う。

【問】傾斜地等の住みかえ需要調査の概要は。

【答】傾斜地の多い蘭西地区を中心に65歳以上の高齢者の中から500世帯程度を抽出し、調査を実施する。

民主市民クラブ 水江 一弘
みずえ かずひろ

介護福祉施設について

【問】特別養護老人ホームの申込者は316人で、国の医療費削減計画の影響で、さらに医療・介護難民が出る。地域密着型施設を増設する考えは。

【答】今後、療養病床の再編成や高齢化の進展があるため居住系を含めた地域密着型サービス基盤の計画的な整備に努める。

療養病床削減の影響について

【問】地域の療養病床削減の影響は。また、国は療養病床から老健への転院を進めているが、患者の転院先になるか。

【答】国の削減政策で西胆振ではすでに440床以上の介護療養病床が廃止・転換・休止している。一方、市立病院の患者の転院先はほとんどが病院であり、老健への転院は難しく、今後も転院先が不足することを強く懸念している。



療養病床から老健への転院を進めるが

目的はいかに。

【答】現在行われている各学校の英語活動は、内容や学習時間等にばらつきがあるため、指導内容の共通化を図り、初歩的な外国語にふれ、体験する機会を持ち、中学校におけるコミュニケーション能力の下地を作ることを目的とする。

教職員の多忙化解消について

【問】時間外勤務と各種業務量の増大で、教職員は多忙化をきわめている。市教委として、これからの課題解決へ向けて、早急に検討すべきでは。見解を。

【答】道教委の「時間外勤務等縮減推進委員会」の検討結果を踏まえ、校長会や教職員団体とも連携し、具体的取り組みを進めていく。

公明党室蘭市議会 柏木 隆寿
かしわき たかひさ

小中学校の

地デジ化について

【問】小中学校の地デジ放送テレビ設置の考え方は。

【答】今後、新たにデジタル

民主市民クラブ 花釜 康之
はながま やすゆき

小学校の英語導入について

【問】小学校5・6年生を対象として導入する英語学習の

放送受信を必要とするテレビ台数や校内放送システムへの対応も含めた教育活動に必要な設備内容、さらに国の補助等財政措置を踏まえ検討していく。

聴覚検診について

【問】介護予防健診の項目に聴覚項目を追加し、難聴者を早期発見・治療することにより、認知症予防につなげる考えは。



市内で実施されている「えみなメイト」

【答】現状では、介護予防健診時の聴覚検査導入は困難。えみなメイトや老人クラブ等で軽度の聴力低下を早期発見する簡易方法「耳すり音」の聞き取りを行い、耳鼻科専門医への受診や補聴器専門店での聴覚検査等を勧めていく。

新政会

徳中 嗣史

通学区域について

【問】区域外通学が許可されている中で、常盤小学校区から武揚小へ13人が通学中。全市の区域外通学の22%で非常に多い中、常盤小では、複式学級化が予定されている。都市の中でこの複式学級は避ける努力が必要。そのためにも両校の統合を早期に進める考えは。

【答】両校を統合しても1学年1学級でメリットは少ないが、耐震診断の結果を含めて地域や学校保護者と協議し対応していきたい。



常盤小学校区から武揚小へ13人が通学中

地域活性化・生活対策

臨時交付金について

【問】この予算の使い道は、プレミアム商品券など経済対策に使用すべきだが、見解は。

【答】医療機器の購入により市立病院の経営基盤確立と市民の安全・安心を守ることができると考えた。

市政・創造21 岡田 健一

本市の経済・雇用について

【問】新年度予算で地域雇用創出等推進基金を創設し、中小企業緊急支援を6カ月間としているが、支援を1年間にする考えは。

【答】基金の活用による支援期間については、財源問題もあり経済状況を見定める中で、協議していく。

教育環境について

【問】本市の児童生徒の携帯電話所持率と小中学校での携帯電話持ち込み状況とその対応は。

【答】所持率は、小学校で35.2%、中学校で72.8%となっており、持ち込み状況は、中学

校では全校、小学校では半数が持ち込み禁止となっている。本市も文部科学省からの方針にたち、すでに各学校へ通知し、保護者への周知を依頼している。



授業への弊害が危惧される学校への携帯電話の持ち込み

Mランド構想について

【問】水産振興や観光振興の観点から水産加工場は必要と考えるが、その立地についての考えは。

【答】追直漁港は、加工原料の安定的・計画的な確保が可能であり、水産加工に参入する要件が整っていることから、具体的な計画が出てきたら、支援方策について検討したい。

新政会 羽立 秀光

室蘭市中央卸売市場に

ついで

【問】地方市場への転換時期はいつか。

【答】転換時期については、周知期間などを考慮すると、年度の間点である本年10月を考えている。



完成に向けて建設が進む追直漁港のMランド



平成21年第2回臨時会議決結果 会期：平成21年4月1日(水)(1日)		
番号	件名	議決結果
	議長の選挙	当選 (我妻 静夫議員)
	副議長の選挙	当選 (徳中 嗣史議員)
議案第1号	平成21年度室蘭市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第2号	室蘭市税条例及び室蘭市都市計画税条例中一部改正の件	〃
議案第3号	監査委員(議員選出)の選任について同意を求める件	同意 (細川 昭広議員)
報告第1号	専決処分について承認を求める件(平成20年度室蘭市一般会計補正予算(第7号))	承認

平成21年第1回臨時会議決結果 会期：平成21年2月10日(火)(1日)		
番号	件名	議決結果
議案第1号	平成20年度室蘭市一般会計補正予算(第5号)	原案可決

平成21年第1回定例会議決結果 会期：平成21年2月26日(木)～3月25日(水)(28日間)

番号	件名	議決結果
議案第1号	平成21年度室蘭市一般会計予算	原案可決
議案第2号	平成21年度室蘭市国民健康保険特別会計予算	〃
議案第3号	平成21年度室蘭市老人保健特別会計予算	〃
議案第4号	平成21年度室蘭市介護保険特別会計予算	〃
議案第5号	平成21年度後期高齢者医療特別会計予算	〃
議案第6号	平成21年度室蘭市水道事業会計予算	〃
議案第7号	平成21年度室蘭市工業用水道事業会計予算	〃
議案第8号	平成21年度室蘭市病院事業会計予算	〃
議案第9号	平成21年度室蘭市中央卸売市場事業会計予算	〃
議案第10号	平成21年度室蘭市港湾整備事業会計予算	〃
議案第11号	平成21年度室蘭市下水道事業会計予算	〃
議案第12号	室蘭市防災会議条例中一部改正の件	〃
議案第13号	室蘭市情報公開条例中一部改正の件	〃
議案第14号	室蘭市個人情報保護条例中一部改正の件	〃
議案第15号	室蘭市職員の給与に関する条例中一部改正の件	〃
議案第16号	室蘭市財産条例中一部改正の件	〃
議案第17号	室蘭市国民健康保険条例中一部改正の件	〃
議案第18号	室蘭市役所支所設置条例中一部改正の件	〃
議案第19号	室蘭市介護従事者処遇改善臨時特別基金条例制定の件	〃
議案第20号	室蘭市介護保険条例中一部改正の件	〃
議案第21号	市立室蘭総合病院条例中一部改正の件	〃
議案第22号	室蘭市地域雇用創出等推進基金条例制定の件	〃
議案第23号	室蘭市産業振興条例中一部改正の件	〃
議案第24号	室蘭市水道事業、下水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例中一部改正の件	〃
議案第25号	工事請負契約締結の件(室蘭市立翔陽中学校校体育館棟新築建築主体工事)	〃
議案第26号	町の区域変更の件	〃
議案第27号	新たに住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域の住居表示の方法決定の件	〃
議案第28号	公の施設に係る指定管理者の指定の件(室蘭市障害者福祉総合センター)	〃
議案第29号	平成20年度室蘭市一般会計補正予算(第6号)	〃
議案第30号	平成20年度室蘭市介護保険特別会計補正予算(第3号)	〃
議案第31号	平成20年度室蘭市水道事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第32号	平成20年度室蘭市病院事業会計補正予算(第2号)	〃
議案第33号	平成20年度室蘭市中央卸売市場事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第34号	平成20年度室蘭市港湾整備事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第35号	平成20年度室蘭市下水道事業会計補正予算(第2号)	〃
意見書案第1号	雇用対策の充実・強化とセーフティネットの拡充を求める意見書	〃
意見書案第2号	公的医療機関の安定経営と地域医療の確保を求める意見書	〃
意見書案第3号	肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書	〃



らいとあっぷ

本会議における質疑・一般質問の
一問一答方式導入

質疑とは、議案に対して疑義をたずねることをいい、一般質問とは、市政全般に関して、議員が質問や意見等を述べ、理事者の答弁を求めるものです。平成21年第1回定例会からの一般質問においては、一括質問方式と一問一答方式を選択することになりました。

【一括質問方式】

議員が取り上げた質問事項を一括して質問を行ない、理事者から答弁を聞き、その答弁に対して納得ができないものがあつた場合に再質問をする。さらに、再質問の答弁に納得ができない場合に、再々質問ができるとし、計3回の質問ができる方式。

【一問一答方式】

質問項目を一つずつ取り上げ、制限時間内で納得いくまで何回でも質問を繰り返す方式。(国会の予算委員会のイメージ)

☆一問一答方式導入により質問と答弁の論点がより明確となり、市民のみなさんがわかりやすい審議を目指すことができましたものと考えております。

編集後記

今回の定例会から議会改革の一環として、質疑・一般質問において一問一答方式が導入され、質問した議員8名中6名がこの方式で質問を行いました。感想としては、各質問、答弁が明確になったことやさまざまな角度からの議論が、展開されたことにより、市民のみなさんにわかりやすくなったものと思います。

今後とも、市民の皆様の感想や意見等をいただきながら、さらなる飛躍を目指し努力してまいります。(岡田)

市議会中継と議会会議録が市議会ホームページに!

室蘭市役所ホームページ(総合案内)⇒「市議会ホームページ」
「議会中継」

※市議会中継は議会開会中のみ生中継、その他は録画放送。

平成21年第2回市議会定例会 会期(予定)

6月15日(月)～6月29日(月)

※会期の決定及び詳細な日程につきましては、6月11日(木)開催予定の議会運営委員会終了後、議会ホームページ【議会日程】に掲載いたします。